

## 9. 大船丘陵地域



### 目標

- ① 丘陵地という特性を踏まえた道路ネットワークの強化
- ② 親しめる自然環境の維持と充実
- ③ 安全で利便性の高い、緑豊かな住環境の形成

### 重点的に取り組む内容

- 交通環境の強化
- 近郊緑地特別保全地区の指定及び近郊緑地保全区域の指定拡大

## 11. 玉縄地域



### 目標

- ① 住みやすく地域を活性化する施設整備
- ② 良好なまちづくりの推進と緑の保全・創出
- ③ 交通環境の充実と駅前の魅力づくり

### 重点的に取り組む内容

- 緑地の保全
- 大規模土地利用転換における秩序ある整備の誘導
- 大船駅西口整備の推進
- 農業の育成支援

# 実現の方途

増補版

～都市マスタープラン実現のため重点的に取り組む方途～

### 1 パートナーシップによるまちづくりの推進

- 「市民、事業者、行政のパートナーシップによるまちづくり」を継承
- 市民主体のまちづくりに対する支援
- 事業者への協力要請の強化

### 2 まちづくりに関する情報の充実

- 情報発信の充実
- 情報交換の場の提供

### 3 推進に向けた取り組みの明確化

- 取り組み状況の明確化
- 到達目標の設定

### 4 まちづくり手法の充実

- 各種まちづくり手法の活用方法の研究
- まちづくり条例の見直し

### 5 事業実施における市民の意見の反映

- 市の事業における市民の意見の反映
- 民間の事業における市民の意見の反映

### 6 財源の強化

- 新たな財源確保の検討
- 民間資金・活力の導入

## 評価・検討の結果

白書

以下は、大方潤一郎 教授\*（東京大学工学系研究科都市工学専攻）による総評を抜粋・要約したものです。  
\*鎌倉市都市マスタープラン策定委員会及び評価・検討委員会・委員長（当時）、鎌倉市都市計画審議会・会長

### 進捗状況

#### 順調に進展しつつある分野

- 「骨格的な緑の保全」…相当の成果をあげている。
- 「鎌倉らしい景観の保全」…建物のスカイラインの保全という点では、着実な進展が見られている。
- 「拠点地域の整備」…進度に差はあるものの、着実に前進。

#### 進展が順調でない分野

- 自動車交通の静穏化やパークアンドライドシステムの導入、公共交通の充実などの交通関係の目標。
- 地区レベルの計画策定を通じたきめ細かなまち並みづくりや、そうした地区レベルの整備を通じた、安全快適でバリアフリーな歩行者空間の形成、身近な小さな緑の育成などの課題については、市内各地区に大きな拡がりを見せるには至っていない。
- 住宅の耐震補強・バリアフリー改修もなかなか進捗していない。

（これら、従来からの課題に加え、時代状況の変化にともなう新たな大きな課題への取り組みが必要）

### 新たな課題

#### 今回の震災によって思い知らされた、都市空間の脆弱性

- 特に、津波の恐ろしさについては、鎌倉のシンボルである大仏さまが露地におわすことで身をもって示されている。
- 水辺空間の新たな活用方策や、水辺に近い市街地や拠点の将来像の見直し等とも関係づけながら、震災対策・津波対策に緊急に取り組み、安全・安心なまちづくりを進める必要がある。

### 新たに取り組むべき3つの課題

- ① 低環境負荷のまちづくり（エコタウン）
  - ② 超高齢化社会対応のまちづくり（ケアタウン）
  - ③ 地域資源を活用した暮らしと文化を育むまちづくり（スローライフタウン（仮称））
- 今回の災害後の復興まちづくりに関し広く共有されつつある観点でもある
- 実は、これらの課題は、当初のマスタープランの時から、言葉遣いはやや異なるが、取り組むべき課題として明示されていた。
  - これらの課題は、今や、いよいよ、長期的な課題としてではなく、今後の10年間で重点的・具体的に取り組むべき課題となった。

### 都市マスタープランの見直しに向けて

- 今後数年で鎌倉市の人口は減少に転じ、また、空き家・空き地が目立つようになり、高齢者向けの共同住宅や老人ホームの建設が盛んになったり、車離れをした高齢者や一般市民の移動の問題など、新たな問題が生ずることも予想される。
- 交通混雑・騒音・公害といった観点よりも、むしろ省エネとバリアフリーの観点から、自動車交通を抑制し公共交通を拡充することが求められるようになる。
- ひとり暮らしの高齢者が増えるにしがたい、在宅介護や在宅医療の充実と同時に、高齢者が引きこもり状態にならないような地域社会と地域空間を作ることも重要になる。
- 水と緑に恵まれた地域特性を踏まえ、漁業や農業の新しいあり方を探りながら、それを市民の生活や文化に結びつけていくことも、鎌倉の歴史・文化に現代的な新たな魅力を付け加えていく上で、重要なことといえる。

詳しくは… [http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/plan/index\\_masterplan.html](http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/plan/index_masterplan.html)

発行

鎌倉市 まちづくり政策部 都市計画課

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

Tel : 0467-61-3417 Fax : 0467-23-6939 E-mail : cityplan@city.kamakura.kanagawa.jp